

---

# 私の砦

東軌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私の砦

### 【Nコード】

N4022V

### 【作者名】

東軌

### 【あらすじ】

私鳥根歩詩奈は常に一人でした。

あの人、あの子さえ私の目の前に現れなければずっと一人だった。

私はひとりで生きていたかったそれだけなのに…。

最初で最後の友達。(前書き)

登場人物

・鳥根歩詩奈 中学2年生

・羽崎来江 //

・山仲春樹 //

・鳥根星奈 歩詩奈の姉。20歳

## 最初で最後の友達。

嘘をつく人なんて大嫌い。

だって私は昔、あの人に…。

6月上旬

私はこの世界中にいる人間の1人。

そして私は今日も将来必要性のないものを学ぶ。

いつも隣の席は誰もいない。

隣に誰かがいることを私が好まないから…。

でも、今日は私の日常を壊すことが起きた。

教師「みんなー席に座ってー!!」

教師の一言で私を含め生徒達が自らの席に座った。

教師「今日は転校生を紹介します。……入って。」

そこからは少し小柄な女の子が入ってきた。

教師「えー羽崎来江はねまきくるえさんです。自己紹介して。」

来江「羽崎って言います。 禄瀬ろくせ中学校から来ました。 よろしく願  
いします。」

来江と言っ子は小さくお辞儀をした。

教師「それじゃあ、羽崎さんは…えっと…鳥根さんの隣でいいかし  
ら？」

私は嫌だった。

でも、何か言える状況じゃなかった。

歩詩奈「…はい……………」

来江は小走りでごちらにやってきた。

来江「えっと…鳥根歩詩奈とりねほしなさんですよ？よろしくお願ひしますね  
！！」

歩詩奈「…よろしく。でも…」

来江「でも…??」

歩詩奈「もう、話しかけなくていいから。」

何故、あんなこと言ったのか私自身わからなかった。  
分からなかったけど、私はその場から立ち去っていた。  
そんな酷いことを言ったのに来江は私に話しかけてきた。  
翌日もその次の日も。

歩詩奈「ねえ、話しかけないでって言ったでしょ？」

来江「あっ…あの、ごめんなさい」

驚いたことに来江はすんなりと謝ってきた。

歩詩奈『変な奴…。』

来江「あのね。私。あなたと友達になりたいの。」

突然来江が友達になりたいなんて言うから私はもつと驚いた。

歩詩奈「へっつ！？」

来江「お願いっつ！」

私は考えてしまった。

歩詩奈「ん…いい…よ。」

はじめての友達…。なんか照れる…。

来江「鳥根さんっ！来江でいいよー!!」

歩詩奈「うん…。」

歩詩奈『友達…か。なんかいいものだな…。』

私は初めて友達ができた。それは来江と言うひとりの少女だった。でもそんな日も長くは続かなかつた。

…あの人が現れてしまったんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4022v/>

---

私の啓

2011年10月9日13時40分発行